

所在地：浦安市高洲26・富岡4-4-2
施主：浦安市
設計：(有)HAN環境・建築設計事務所
施工：(株)山一建設 (株)ウラタ

景観に配慮した一般建築物 浦安市防災備蓄倉庫

災害は忘れた頃にやってくる。阪神大震災の教訓から、避難場所となる都市公園に、防災備蓄倉庫の設置が全国的にすすめられている。

人口急増の浦安市は、かねてより防災対策に積極的に取り組み、すでに市内40ヶ所に緊急用食料や防災機材を備蓄しているが、あらたに2ヶ所の公園（高洲中央公園、中央公園）に完成した防災備蓄倉庫は各々同じデザインによる40坪ほどの独立した小建築物。本来は都市の裏方の役割の存在だが、デザインによって都市景観に彩りを与える存在になる好例として評価された。

倉庫は緊急時を目的としているので非日常的な存在だが、公園内では日常的な景観要素となる。しかもその用途を「いざ」に備えてつねづねアピールしておくことも必要。この点、同じデザインの備蓄倉庫は目印となり、今後のプロトタイプになろう。まずは耐震構造、太陽光や風力発電装置、トップライト採光などが基本条件となるが、この設計の成功は、そうした機能条件を率直な外観デザインに転化させたところにあり



例えばクルクル廻る風力発電の風車が遠くからも見えて公園の楽しいアクセントになっているなどである。

脇役がドラマを盛り上げるように、小さな公共建築が都市の機能と表情を支える大切な役割を実現させたといえよう。

(野口瑠璃)

8

所在地：千葉市美浜区新港117
施主：並木木材(株)
設計：(有)設計アトリエ一級建築士事務所
施工：(有)木源ハウジング

景観に配慮した一般建築物 ティンバーヤード



撮影：井祐広之

千葉市美浜区の埋め立て地の一画にある材木店の事務所、店舗、DIYスペースの3棟から構成される建物群である。周辺は木材団地として開発され、今も大きな区画割りの中に波板鉄板の倉庫が林立している。

そのような緑も少ない殺風景な中で、この建物群は大断面集成材を用い、外部に重量感のある木の構造

体を露出し、外壁の一部にも木板を貼ったことによって、周囲とは異なる柔らかな表情を見せている。また、それらの木材自体がこの材木店の取り扱い商品であり、PR効果を持つというユニークさがある。さらに、3棟中央のDIY棟は既存倉庫を改修したものであり、外装材を新築の2棟と統一することによって、一体感

のあるデザインになっている。

ここには、一民間企業の取り組みが地域の景観形成に寄与する可能性が示されている。これに続く試みが今後各地でも展開されることが大いに期待される。

(園田真理子)